



# 深山たかし

発行元：深山たかし後援会  
 上尾市大字上1774-7  
 048(776)0575  
 fukayama-sov@icom.home.ne.jp  
 ホームページは検索サイト  
 “深山たかし”で閲覧できます。

## 議会レポート

### 災害は忘れた頃にやってくる

普段あまり意識しておりませんが、「いざ」と言う時に頼りになる上尾市の消防行政について質問致しました。

#### 消防署のサイレン

消防署でサイレンや半鐘が鳴る時がありますが、その意味が分かりませんでしたので尋ねました。

市内で延焼危険な建物火災が発生した場合に市民・消防団員・自警消防団員に火災を周知する目的があるそうです。

その吹鳴回数は、建物火災で延焼中及び延焼する恐れがある時は、三回、特に住宅密集地域で東は芝川、

西は鴨川、北は通称Bを通り、南はさいたま市境までの範囲内で発生した延焼中の建物火災については五回、大規模火災については、職員、団員の非常招集を目的として十回鳴らす決まりになっています。

また、毎月七日の「県民防火の日」には午前八時に二十秒間吹鳴して防火意識の高揚を図っています。

#### 救急車と消防車の同時出勤

マンションや高層アパートなどから救急要請の場合、高層階で救急処置後の患者搬送に支障が生じる場合や、救急活動に大きな危険性が

伴う幹線道路での交通事故など特にマンパワーが必要などときに同時出勤(通称P A連携)をするそうです。

#### 自警消防団

上尾市には消防署、消防団のほかに、自警消防団があります。

市内六地区の代表区長さんが運営委員長になり組織する自警消防団運営連絡協議会の下に現在三十九分団、五八九名の自警消防団員さんが活動中で、消防ポンプ車と消防活動に必要な装備を有しています。

地域の安心・安全を守るため、火災等の災害時には最後まで現場に残り、再燃火災防止や警戒並びに現場保存等をして頂いています。

団員さんは、地域で仕事をしながら、地域の防災リーダーとして、時には地区の行事にも活動して頂いています。ボランティアの組織でありながら、災害時には現場に駆けつける頼もしい存在です。



PAPAの周辺歩道

一方で、団員さんの確保に苦慮している現状にあります。

自主防災組織は、区長さんを取りこむとする地域住民により組織されたボランティア組織です。

自主防災組織と自警消防団は混同されがちですが、それぞれの役割に違いがあります。

#### PAPA周辺の駐輪

北上尾駅近くのPAPA周辺の歩道に自転車駐輪されていて、歩行の邪魔になっていることを、近隣の方より指摘がありました。

駐輪案内や、スペースの不足も原因に挙げられておりますので、改善を要望しました。



**（仮称）東保健  
センター整備事業**

三月議会で平成二十二年度当初予算に（仮称）東保健センターの整備費が計上されました。

新しい保健センターでどんな事業を行いたいのか、保健センター整備のコンセプトを尋ねました。

**【答弁要旨】**

現在の施設の問題である母子や障害のある方などに配慮し、靴を履き替えずに利用できる施設や待合場所などゆったりと健診が受けられるような十分な広さを確保し、エレベーターや駐車場駐輪場の充実など利用



者への便宜を図った地域に開かれた施設として建設が必要でです。

利用状況としては、健診や予防接種など小さな乳幼児連れ、病気や高齢な方の来所も多い現状があります。

今後は、地域に根ざした各団体の有効な機能を活かし、保健師等の地区活動により地域とネットワークを結び効果的な健康増進施策を実践して行く複数の拠点が必要とのことでした。

構想の中で、保健センターの機能を（仮称）東保健センターに移すことを考えていて、職員体制についても事業や施設運営の効率性を高めるために職員の分散を極力抑え、職員は（仮称）東保健センターに配置することを予定。現在の保健センターは、西側地域住民の利便性を考慮し、健診等の会場利用や地域性の高い事業の会場とし、健康づくりの西側の拠点として利用を図って行く予定とのことです。

建設のスケジュールにつ

いては、平成二十二年度に用地を購入し、平成二十三年度に基本設計と実施設計、平成二十四年度に建設工事着工を予定しているとの答弁がありました。

★今は早期発見、早期治療の予防医療の考え方が主流となっておりますので、施設建設ばかりに重点を置くのではなく、上尾市の保健行政はどうあるべきかを考え、積極的な事業展開を望むところです。

私は、市の重要施策として「健康推進の街あげお」を定着させて行きたいと考えております。

**ぐるっとくんの循環コースの変更は**

ぐるっとくんは現在ハコリスで合計九台、一日に六十九便の運行を行っています。現時点での課題は、主に便数を増やしてほしいとの要望が多いことと、バス車両の入れ替えが進んでいないことが挙げられるそうで

す。

ルート変更については、新しい公共施設のオープンに合わせていくつかの変更を行いました。条件として現在あるバス停を廃止せず新設のバス停を設けていることから、循環に時間を要することとなり、ダイヤの大幅な組み直しが必要となる為に、慎重にならざるを得ないとのことでした。

**後援会の行事**

四月三日 氷川神社で恒例のお花見をしました。議会での議員の発言は、皆様の意見を反映しています。行政への改善、要望をお待ちしています。



たくさんの皆さんから貴重なご意見を頂戴しました。

**片品村との  
宿泊協定締結**

私は、保養所の「ばんだい上尾荘」が廃止になり、その代替施設の可能性を模索してまいりました。

平成二十年九月の一般質問で、観光地の旅館組合との宿泊協定締結が、双方の自治体にとって有益に作用する事などを訴え、要望していたところ、本年四月十二日に防災協定の実績がある群馬県片品村と「宿泊施設等の利用に関する協定」を結ぶことになりました。

協定締結に当たり地元二十三箇所所の旅館と六箇所所の民間施設が参加してくれる事になりました。上尾市観光協会の窓口で手続きをすすめると、片品村の宿泊、レクリエーション施設の優待券がもらえます。

冬はスキー、夏はゴルフやハイキングなどに活用できます。